



# 「よくなる！」新聞

2024年 3月

こんにちは！新しい発見により整体が大きく変わりましたのでどう変わったのかを中心にお伝えします。

## 呼吸にこだわる整体のつづき

先月につづき、新たな発見をもとに施術をすすめた経過をご報告いたします。わたしたちの『手技』と呼ばれる整体でも、施術する方針を導き出すために『検査』をします。その時の体型を調べることをするのです。患者さんの体型がわかると、その日の施術の方法が決まります。

**新しい発見は、息を吸うときと吐くときで体型が逆転する人が約半数いるという事実でした。**吸うときと吐く時で変わる体型をどのように施術していくのか？普通に考えたらかなりややこしい話です。どこを施術するときでも触れるときと手を離す時の呼吸を逆にすることになります。具体的には、吸うときと吐く時でそれぞれの場所で触れるときの呼吸、離すときの呼吸を確かめながら施術しています。

今までの施術と比べても動かし方や触れる場所は同じなので、今までと同じ印象を受ける方がほとんどだと思います。実際の呼吸にあわせて逐一やり方を変えているので、現時点での患者さんのお体の状態にさらに寄り添った施術が可能となります。

**このことによって同じことをされているはずなのに、何かが違う。もしくは、良くなり方のスピードがアップした。症状が一進一退だったのが、急に変わり始めた。などといったことが起きています。**

調べる体型が今までの二倍に増えて、触れるときの呼吸も分けて施術するのでより複雑になります。今までよりも施術するときの口数が少なくなると思います。患者さんの呼吸をしっかりと見ながらやっておりますのでご理解のほどよろしくお願ひします。(ˆ▽ˆ)

## 言葉の持つチカラ

言霊（ことだま）という言葉があります。言葉にはちからがあり、口にするポジティブな言葉は実際に物事が好転することにつながるという考え方です。逆にマイナスのことをイメージして口に出した言葉は、良くない作用を引き起こすこともあります。

施術のときに、わたしはよく質問をします。「今の感じはいつもの感じとどう違いますか？」同じ聞き方でも応えは様々です。「いつもより、楽になっています。」もしくは「まだ痛いです。」楽になっているという言葉は、いいのですが、「まだ痛いです。」という言葉には注意が必要です。60%良くなっても「まだ痛いです。」80%良くなっても「まだ痛いです。」80%楽になったことはスルーして痛いことを訴える方もいます。そういう方はもしかすると、「痛いと言ったほうが良くわかってくれるかも。」とお考えなのかもしれません。

言葉のもつパワーからすると、「まだ痛い」は「まだ居たい」につながるようです。「痛い」から「楽になっている」に移ることができると、改善の度合いが加速します。良くなっていることに目を向けると得をします。

## お雛さま

整体院に雛人形を飾っております。実は奥さんの姉妹が買ってもらったものを修理して再生してもらったものです。お内裏様の手にあるシャクは子供たちが遊んでいる間に折れて無くしました。(ˆ； 屏風は経年劣化したのでふさわしいものを探して変えております。

**大切な方をご紹介します。心を込めて施術いたします。**

**母の股関節がよくなってすすめられました。**

**Iさん談**



大切なひとには心を込めて整体します。紹介された方初見料 2000 円引き

**あいば院の駐車場は2台です。東へ100Mと整体院の前に一台**

兵庫県西宮市高松町 18-1 阪急西宮北口駅 東出口から徒歩 3 分

休院日 日曜日、祝日 ☎ 0798-66-0099